

議会報告会 会場報告書

担当班： 3班 班代表者：大西 基雄

概要			
地区名 : 大芋 地区 日時 : 令和 5年 5月12日 (金) 19:00~:21:30 場所 : 大芋公民館 参加人数 : 26人(男25人・女1人)	【出席議員】 大西 基雄 隅田 雅春 安井 博幸 渡辺 拓道 前田 えり子 萩原 正人	(1) 開会あいさつ : 大西 基雄 (2) 議会報告 : 安井 博幸 (3) 質疑応答 : (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ : 前田 えり子	挨拶・総括 : 大西 基雄 司会進行 : 隅田 雅春 報告 : 安井 博幸 記録 : 渡辺 拓道 前田 えり子 会場 (マイク) : 萩原 正人

【主な質疑】

質疑・意見	回答
【第1部】 (子育て世帯応援給付金に関連しての質問) 議会として、子育て支援をどう進めるのかの考え方はあるのか。子育て世帯の「家計」にプラスにならないと支援にならない。全国的には、子育て支援を重点的にして若い人達を迎えているのではないか。	本市も独自の子育て支援施策を進めており、議会としては、その施策の審理にあたっています。 また、各議員は一般質問等で支援施策の提案を行っていますが、支援策づくりの際には財源の検討が必要となります。
(住み続けるための利便性、働く場所についての質問) 都会から見れば住みたい町かもしれないが、住んでいる者が不便で住みにくい。篠山には何も無い。企業誘致は考えているのか。若い人が住みやすい町にしてほしい。	最近何件かの企業誘致が実現しています。また、本市では起業にも力を入れており、特に移住者の起業が多くなってきています。
(市消防団員の定員の管理、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について) 60歳でも現役消防団員であり、いつまでもやめられない。報酬をあげる	頂いたご意見については、市にお繋ぎいたします。

<p>より、消防団の合併を願いたい。</p>	
<p>【第2部で出された意見等、箇条書き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私が市外に出た理由は働く場所がなかったからである。定年帰郷したが、今も状況は変わらない。 ・定年延長（60歳から65歳）の影響で住民の地域活動デビューが遅れていることが担い手不足の原因である。 ・2040年に農業者が1/4に減少すると聞いた。このままでは農機の更新ができず農家が本当にいなくなる。 ・担い手の大切さはよくわかっている。しかし現実には、自分のことで精一杯である。 ・全ての農地を残すのは困難である。どの農地を残すかを考えなくてはならない。 ・小さな農家を大切に作る施策が必要である。 ・補助金だよりではダメ。淘汰されることも必要である。 ・担い手問題は人口問題である。子育て世帯を増やすなどの定住促進が大切である。そういった意味で、本地区に市営住宅の設置を考えて欲しい。 ・丹波篠山だけで問題（担い手の）に対応するのは難しい。市議会には他の地方議会と連携して、大きいもの（国の意）を動かすくらいの気概を持って、実際に動いていただきたい。 ・役員の負担が増大し続けており、限界に来ている。 ・働く場所（市内企業）のPRが不十分だと思う。 ・現役世代が役員になるとつらい。しかし、高齢役員になると市中心部での会議に出席できない。 ・利便施設（主に商業施設の意）が不足している。丹波篠山に利便施設が増えないのは、行政と民間の関係性に課題があるのではないか。 ・変わる必要はどこにある。議員は丹波篠山の良いところをないと思っているのか。 ・担い手不足の原因は、はっきりしている。それは、対策をしてくれなかったこと。急に増えるわけではない。ビジョンを示しながら、現状の対策をする。具体には、「泊まれる学校・おくも村」に天体望遠鏡を設置するなどして、関係人口を増やす。都会に呼びかける。 	<p>議会で共有させていただきました。貴重なご意見として今後の地域振興策の検討に参考にさせていただきます。</p>

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・農業では生活が成り立たない。最近になってから担い手不足と言っても、不足は何年も前からわかっている。今になっていうのはおかしい。生活できる状態をつくらなければ、解決しない。・新築や改築、移住者には援助があるが、元から住んでいる者にはない。・グリーンファームは農協と市が出資している。組織を強めて、もっと企業化してやりたい人、若い人を育てるようにする。・特産物はあるが、つくる人がいない。作る人を募集する。・大芋は、雪が多い。市内一律ではなく市道の除雪の強化を求める。 | |
|---|--|